学校名	北区立東十条小学校
授業者	秋山 希

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海と人とのかかわり 「海とかかわる人々のくらし」

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科(単元を実施する教科を全てお書きください)

海育科 (社会科)

1-4. 単元の概要

社会科「島の自然を生かした人々のくらし」では、東京都に暮らす自分たちと、同じ東京都でも自然環境など地域の特色が違う場所で暮らす人々との、生活の仕方の違いに気付き、よりよく生きていくための工夫や努力について考え学ぶことが目標である。3年生では、自分たちの暮らしている北区について学び、4年生では、「安全」「ごみの処理」「水」などの、自分たちのくらしに関わる人々の工夫や努力について学ぶ。そこから、東京都の礎を築いた歴史上の偉人や伝統文化などに触れ、地形や自然環境の特性について学ぶ本単元につながる。「人々の努力や工夫を学ぶ」というこれまでの学習から培った視点を基に、島国としての本国の地形の特徴から、普段都会の平地で暮らしている自分たちの生活を改めて振り返らせる。そして、自然環境を生かした向上的なくらしをしている人々の工夫や努力を知ることで、自分たちの生活態度やものの見方を改めることができるような態度を養う。

海育科では、鹿児島県与論島との姉妹校盟約を結んでから39年が経ち、これまで毎年様々な形で交流を続けてきた。与論島との関わりが強く、児童にとっても馴染み深い。その与論島について児童がより深く学ぶことで、「海に親しみをもつ」という海育科としての目標を達成しながら、与論島との絆も深まるよう本単元を設定した。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

八丈島の学習で学んだことを生かし、姉妹校盟約を結んでいる与論島の人々や海を含む自然に親しみを感じながら、くらしと海の生かし方を知ったり、島の自然を生かしながら生活している人々の様子を資料やその人々の話をもとにして調べ、八丈島に住む人々が地域の活性化に努めている姿について理解したりしたいと考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海への親しみをもち、海に関心をもとうとする。
- ・自分たちの生活が海と深く関わっていることに興味をもち、理解しようとする。

1-7. 単元の展開(全7時間)

1-7.	単元の展開(全 / 時間)	
時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	・立体地図を見て、どのような所かを理解する。・地図帳で場所と本土からの距離を知る。・降水量と平均気温のグラフから気付いたことを話し合う。・疑問や関心をもったことを発表し、学習問題をつくる。	八丈島の学習を生かし、与論島での生活の様子に共 通点や違いがあることを見出し、問題意識をもって いる。(関心・意欲・態度)
2	・写真やグラフを活用し、サンゴや島の形成方法などを調べる。・リーフと台風の関係について調べ、台風が海水の循環に関わっていることを知る。	与論島はサンゴによって作られた特色のある島であることを理解している。(知識・理解)
3	・与論町の就業人口グラフを見て島の人たちの生活を予想する。 ・製塩業の仕事内容や工夫を知る。	・与論島の産業の維持・発展、地域の活性化に努力する人々の思いや願いを考え、表現している。(思考・判断・表現) ・与論島と八丈島の海の生かし方の違いが分かる情報を集め、読み取ったことをノートにまとめている。(技能)
4	・与論島で捕れる魚や漁獲量を増やす工夫について調べる。・与論島を囲むリーフの内外で、漁業の営まれ方が違うことを知る。・観光客が減ったことで、消費が伸び悩んでいることに気付く。	・与論島の産業の維持・発展、地域の活性化に努力する人々の思いや願いを考え、表現している。(思考・判断・表現) ・与論島と八丈島の海の生かし方の違いが分かる情報を集め、読み取ったことをノートにまとめている。(技能)
5	・観光の取り組みについて調べる。 ・潮の干満で潮だまりの魚釣りや百合が浜での観光ができることを知る。 ・観光を中心とした生活が、与論島の人々の生活に深く関わっていることを知る。	・与論島の産業の維持・発展、地域の活性化に努力する人々の思いや願いを考え、表現している。(思考・判断・表現) ・与論島と八丈島の海の生かし方の違いが分かる情報を集め、読み取ったことをノートにまとめている。(技能)

	・八丈島と与論島の海の生かし方の違いを話し合	・与論島と八丈島の海の生かし方の違いを島の成り
	う。	立ち、島を取り巻く環境などから考え、表現して
		いる。(思考・判断・表現)
6		・自然環境を保護・活用して協力し合い、産業の維
		持・発展、地域の活性化をしていることと、与論
		島のよさについて理解している。(知識・理解)
	・調べて分かったことを、他学年に発表するため	・与論島と八丈島の海の生かし方の違いを島の成り
	にクイズ形式でまとめる。	立ち、島を取り巻く環境などから考え、表現して
		いる。(思考・判断・表現)
7		

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間(導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など)の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

 単元
 7
 時間中の
 1
 時間目

※例: 単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

2-2. 本時の目標

- ・資料をもとに、与論島の位置や自然環境の様子を捉えることがきる。
- ・同じく海に囲まれた地域である八丈島との違いに気付き、学習問題を見出すことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応 教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)

- 1 前時の振り返りをする。
- ・自然を生かした仕事をしていた。
- ・自然を大切にしながら、生活の仕方を工夫してい た。
- 2 与論島の生活や環境を考えてみる。
- ・八丈島と同じで海を生かしている。
- ・漁業を頑張っていると思う。
- 3 与論島のビデオレターや写真、気候データなどを もとに、与論島でくらす人々の工夫や努力につい て予想をする。
- 4 意見をホワイトボードに書き込み、グループで伝え合う。その後、全体で伝え合う。
- ・きれいな砂浜を生かして観光に力を入れている。
- ・めずらしい魚を獲って、高く売っていそう。
- 5 発表された意見をもとに、これから学習して知り たいことを問題化する。

例:与論島では、どのようにして海を生かした生活を をもっている。(ノート・発言) しているのだろうか。

6 次時の学習について確認する。

- ・本時までの学習内容をまとめたものを掲示しておく。
- ・本時の資料と比較できるような八丈島の写真資料 を掲示しておく。
- ・大まかな島の様子を知るために全体写真を提示する。
- ・八丈島の学習内容を根拠に考えさせる。
- ・ビデオレターのキャプチャー画像、写真、気候データを記したプリントを配布する。
- ・始めに隣の席の児童と意見交換させ、次に全体で発表をさせる。

評アー① 八丈島の学習を生かし、与論島での生活の様子に共通点や違いがあることを見出し、問題意識をもっている。(ノート・発言)

・児童の予想を覆す、漁業生産額の低さを表したグラフと、漁業就業者の割合の少なさを表した資料を提示

7 単元のまとめにクイズ作りをして、下級生にクイ	し、次時の学習意欲を高める。
ズを出しに行くことを知り、学習の見通しを立て	
る。	
3. 今回の活動の自己評価	
	の八丈島の様子や人々のくらしと比較しながら考えた
りすることは、児童にとって興味・関心の高い学習	
プラのことは、元重にこうで発外・関心が同くす日	C 14 7/C

	-
Ĺ	
į	5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点
г	New York Control of the Adult No. 1995 A. J. 1995
	・適切な資料の収集、精選が必要である。

・与論町の社会科の副読本は資料としてあるが、他にどのような資料が適切であるか、精選する必要がある。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

4. 今後の課題

フォント: MS 明朝、10.5 ポイント / マージン:上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例:学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。